

『シャッターアイランド』 原題 SHUTTER ISLAND 2009



© 2009.PARAMOUNT PICTURES. All Rights Reserved

映画批評

『シャッターアイランド』 原題 SHUTTER ISLAND 2009

～ ‘心的外傷’を抱える人間の救済は、ありえるのだろうか～

塚田三千代

『シャッターアイランド』は、マーティン・スコセッシ監督が自分の世界観(現代における秩序・暴力・信念を人と神とのかわり)を伝えている映画だと言えよう。映画はポートランド湾の‘シャッターアイランド’と称する離島にある精神病院の内と外の社会を、主人公テディー(レオナルド・ディカプリオ)が2回行き来して迷走する状況を、ミステリアスに映像化している。

外の社会から隔離された精神病院の医科では、脳医学の先端となる患者のロボトミー(脳手術)かクロクプロミジン(薬物で記憶消失)かで、競いあっている。この事情が映画の進行につれて様々な形態で見えてくる——精神病院の院長は医師と患者(トラウマで重症)の対話やセラピーによる治療を優位に考えて実証しようと試みる、重症患者専用のC棟は南北戦争時代の捕虜収容所を使用しているので暗闇にとざされている、ナチス収容所の開放時に参加したアメリカ人の若い特殊部隊員が普通の社会に戻ったときのトラウマの壮絶さ、精神病院に強制的に入れられたら医師の認定カルテがないと絶対に退院できない、退院するためには患者が自分の罪状を認めざるをえない、等々が次第に明らかになってくる。このように、

映画は精神を病んだ犯罪者だけを受け入れて共同生活を送る非日常の世界と現実とをきめ細かく丁寧に描いている。

これは戦争の暴力だけではなく、現代社会に潜むさまざまな暴力にも通じるものがあると、興味ぶかく思える。ラストシーンで、「怪物として生きることと、善い人間として死ぬのとどちらが幸せかな」、という言葉が心にいつまでも残るのである。

<STORY>

時代は50年以上も前のことで、アメリカ東海岸ボストンから100マイル沖にある孤島‘シャッターアイランド’に精神を患った犯罪者を収容するアッシュクリフ病院が開設されている。そこで起こった物語である。

一人の女性患者が突如病院から消え、失踪事件の真相調査に連邦保安官テディーと相棒チャックが派遣されてくる。さっそく仕事に取り掛かるが院長はじめ関係者から得られる情報は、どれ一つとして真相に近づけなく、難航して次々と問題が起きる。登場人物は病院関係者と患者。そして、テディーとチャックが二人の間で交わすコミュニケーション。アッシュクリフ病院は開放病棟システム採用のはしりと思われる。





映画のセリフ

①

Chuck Aule: All I know is it's a mental hospital.

Teddy Daniels: ...for the criminally insane

~~~~~

Teddy Daniels: You know, this place makes me wonder.

Chuck Aule: Yeah, what's that, boss?

Teddy Daniels: Which would be worse — to live as a monster, or to die as a good man?

*Teddy gets up and walks off.*

Chuck Aule: Teddy?

(註) このセリフは映画のラストシーンで交わされる、「怪物として生きることと、善い人間として死ぬのと、どちらが幸せかな」、である。

②

Dr. Jeremiah Naehring: Did you know that the word 'trauma' comes from the Greek for 'wound'? Hm? And what is the German word for 'dream'? Traum. Ein Traum. Wounds can create monsters, and you, you are wounded, Marshal. And wouldn't you agree, when you see a monster, you... you must stop it?

~~~~~

Teddy Daniels: Yeah... I agree.

(註) ジョン・コーリー医師が「ドイツ語のトラウマは英語の夢だよ」と講釈するシーンである。トラウマ(trauma)は「心的外傷」の意味で日常語になっているが、ドイツ語の der traum や英語の dream は、どちらも「夢(ゆめ)」ならトラウマの理解に弾力性や柔軟性があってもよいのではないか。保安官テディーを納得させるための講釈であるが、専門語は定義を明確にするが日常語との線引きは難しい。※die tochter(独)－daughter(英)、どちらも娘の意味

〔関連事項〕

原作はデニス・ルヘインによる同名のミステリー小説「Shutter Island」。原作小説も映画化作品もどちらも現代社会の一面を表象していると言える。

当時は、社会の緊張や混乱とは別に、精神医学、心理学の分野では研究が進み人々の関心も深まった時代である。身近なところでは、カナダの精神科医 Eric Berne, M.D. が1961年「Transactional Analysis in Psychotherapy」を、'64年「Games People Play—The Psychology of Human Relationship」を書き、後者はペンギン版単独で60万部、2年間ベストセラーを続けた。また、マズロー博士が1954年「Motivation and Personality」を書き、それ以後に多くの著

書・論文をもって第三勢力の心理学を築き、「欲求5段階論」が能力開発に活用され、コミュニケーション能力向上に貢献した。

〔映画情報〕

監督マーティン・スコセッシと主演レオナルド・ディカプリオのコンビは4度目の作品。『ギャング・オブ・ニューヨーク』(02) 『アビエーター』(05) 『ディパーテッド』(07年)に続く4作品

監督:マーティン・スコセッシ

主演:レオナルド・ディカプリオ、マーク・ラファロ、ベン・キングズレー

原作:SHUTTER ISLAND. Dennis Lehane.

「シャッターアイランド」. デニス・ルヘイン. ハヤカワ文庫.

配給:パラマウントピクチャー

© 2009 by PARAMOUNT PICTURES. All Rights Reserved. S-island.jp

© m.tsukada. All Rights Reserved.